



かしわの

No 490 (9月号)
令和3年 9月 6日
調布市立柏野小学校
校長 浅野 正臣

<http://www.chofu-schools.jp/kasiwano-sho> mail:kasiwano-sho@chofu-schools.jp

レジリエンス（しなやかさ・折れない心もち）

校長 浅野 正臣

夏休みの延長を経て、本日より2学期が始まります。デルタ株の急激な広がりとともに、児童への感染力の高さも指摘され、より一層の感染予防対策が必要になってきました。児童には、マスクを正しくつけることや、毎朝の検温などを今まで通りに続けることを話しました。保護者の皆様も体調には十分お気を付けてください。オンラインを活用した授業も対策の一環として実施します。通常登校後の対策も含めまだまだ課題も多いですが、ぜひご協力をお願いします。尚、感染に対するご心配等、ご不安な点は遠慮なくご相談ください。

さて、今夏の記憶を手繰ってみると、やはりオリ・パラの印象が強く残ります。数々のアスリートの活躍を見るたびに心踊らされ、勇気づけられました。パラアスリートのお話を聞いた多くのマスコミは「レジリエンス」という言葉で表現をしていました。この言葉は、パラリンピックが始まって多く聞かれますが、オリンピックのアスリートも同じように取り組んでいて、誰もが大切にしなければならぬものだと感じました。

オリ・パラは、自分を振り返る機会にもなります。自分には、できないことばかりだなあと感じる時間でもあり、全部はできないけれど、できることがあるのではないかと考える時間にもなりました。パラアスリートの方々が、自分も持っている力を最大限に引き出している姿は参考になりました。

これを今の学校に置き換えてみると、制限が多く「以前のように学校生活を送りたい」と誰もが思います。しかし、オンラインのように、できることを見つけて、挑戦していくことが今、必要なことだと感じます。レベルは違うかもしれませんが、このような気持ちを持つことで「レジリエンス」に近づくことができるのではないかと考えます。また、「レジリエンス」の共有がオリ・パラの「レガシー」にもつながるのではないのでしょうか。

これらのことを、柏野小の子どもたちにも伝えていきたいと思います。今後も、いろいろな変化が予想されますが、今できることを考えていく2学期にしていきましょう。

長塩 椎奈

8月から産休に入らせていただきました。保護者の皆様に温かい言葉を掛けていただき、お子さんたちからもたくさんのサポートを受けながら勤められたことを感謝しております。お休みさせていただきご迷惑をお掛けしますが、出産・育児を経験して皆様の役に立てるような教員となって戻ってきたいと思っています。今後も柏野小の皆さんの成長を応援しています。

藤原 伸浩

2学期より柏野小学校で勤務することになりました、藤原伸浩です。好きなヒーローは、ウルトラマンです。何度でも立ち上がる・あきらめないスピリットに胸を熱くしています。柏野小学校の皆さんとともに、コロナ禍でいろいろと大変な状況の中ではありますが、“大きく変わる”時ととらえて、ウルトラマンのようにベストを尽くします。どうぞよろしくお願いたします。